令和２年１月定例

伊達市教育委員会　会議録

令和２年１月15日開催

 令和２年１月定例伊達市教育委員会会議録

1. 開催日時　　令和２年１月15日（水）15時05分～

２．開催場所　　月舘総合支所２階　ふれあいホール

３．出席者　　　教育長　菅野　善昌

１番　太田　康一　　委員

　２番　髙野　保夫　　委員（教育長職務代理者）

　　　　　　　　３番　菅野　千惠子　委員

４番　三品　清重郎　委員

1. 欠席委員　　なし

５．説明のため出席した者

　　　　　　　　教育部長　　　　　　　　　　　　田中　清美

　　　　　　　　教育総務課長

　　　　　　　　（兼学校給食センター所長）　　　原　　好則

　　　　　　　　教育総務課主幹（教育施設担当）　佐藤　真

　　　　　　　　生涯学習課長　　　　　　　　　　坂本　直樹

　　　　　　　　学校教育課長　　　　　　　　　　阿部　裕好

　　　　　　　　こども支援課長　　　　　　　　　谷口　信高

　　　　　　　　こども育成課長　　　　　　　　　森林　敏昭

６．本委員会書記

　　　　　　　　教育総務課総務企画係長　　　　　冨田　昭子

　　　　　　　　教育総務課総務企画係主事　　　　渡邉　美佳

1. 日程１　開　　会

**○菅野教育長**これより令和２年１月定例伊達市教育委員会会議を開催いたします。本日は全員出席しておりますので、会議が成立しました。

８．日程２　会期の決定

**○菅野教育長**　開会時刻は15時05分といたします。次に会期の決定についてお諮りをいたします。会期については、本日15日にしたいと思いますが、これにご異議はございませんか。

【委員より異議なしの声あり】

**○菅野教育長**　異議なしと認めます。会期については、本日15日と決定します。

９．日程３　議事録署名委員の指名

**○菅野教育長**　続きまして議事録署名の指名に移ります。本日の議事録の署名は３番菅野委員と、４番三品委員にお願いします。ここで12月定例伊達市教育委員会会議の議事録について、１番太田委員と２番髙野委員に署名いただきましたので、報告します。

10.日程４　会議の進め方

**○菅野教育長**　本日の会議の進め方について、原教育総務課長から説明をお願いします。

**○原教育総務課長**　資料により説明

１　開　会

２　会期の決定

３　議事録署名委員の指名

４　会議の進め方

５　傍聴の許可

６　議　事

　　　議案第１号　伊達市奨学資金奨学生の選考について（諮問）

　　　議案第２号　伊達市いじめ問題対策委員会委員の委嘱について

７　報告と協議

1. 教育長から

　　　（２） 各課から

　　　（３） 各教育委員から

　　　（４） その他

８　閉　会

11.日程５　傍聴の許可

**○菅野教育長**　傍聴の許可に入ります。傍聴の許可を求める方はいらっしゃいますか。

**○冨田総務企画係長**　いらっしゃいません。

12．日程６　議　事

**○菅野教育長**それでは議事に入ります。まず「議案第１号　伊達市奨学資金奨学生の選考について（諮問）」教育総務課長から説明をお願いします。

**○原教育総務課長**　資料により説明

**○菅野教育長**　ただいま説明あった議案第１号について、委員の皆様の質疑をお願いします。ご意見のある方の発言をお願いします。

**○菅野委員**　奨学生募集の要件にある「心身ともに健康であること」という記述ですが、身体障害や精神障害をもつ人にとってどうなのでしょうか。言葉尻を捉えるようですが、特に精神障害をもつ人は非常に優れた能力を持っている場合があります。心身の健康についてどのように考え、どの程度のものを指しているのでしょうか。

**○菅野教育長**　人物の要件の中にある「心身ともに健康であること」の解釈の仕方ですね。

**○原教育総務課長**　人物及び健康については、学校からの推薦時に優秀かつ健康であることということで推薦して頂いております。奨学資金の目的は、経済的な理由から修学が困難な人への援助です。修学が可能な健康状態の維持管理がなされていれば基準を満たすと考えております。

**○菅野教育長**　例えば、高等学校へ進学を希望している場合は、高等学校の３年間の修学に十分耐えられるような健康状態であること、あるいは大学であれば４年間修学が可能な健康であること、ということですね。

**○菅野委員**　よく分かりました。そうなのであれば、「心身ともに健康」という文言はふさわしくないと思います。もっと他に何か代わる表現があるのではないでしょうか。

**○原教育総務課長**　奨学資金の貸与条例にて貸与における資格を定めているところです。品行が正しく、身体強健であると記載されておりますので、ここから「心身ともに健康」という表現になっております。

**○菅野教育長**　表現について、個別のケースを言い分けてしまうと差別的になってしまう恐れがあります。そうしたことを踏まえて、もし障がいがあったとしても、希望する学校の修学に十分耐えられるような健康状態であれば良いとう広い意味合いですので、ご理解いただければと思います。

**○髙野委員**　確かに微妙な表現ですね。もっと適切な言葉があるのではないでしょうか。

**○菅野教育長**　他の自治体でも使用されている一般的な文言かと思います。現代は障がいをもつ人もそうでない人も互いに助け合う時代ですので、そうした時代に沿ったふさわしい言葉かどうかということは検討させていただきたいと思います。

**○菅野委員**　「健全な精神は健全な身体に宿る」という言葉があります。それに倣うような言葉遣いですね。私は健全な肉体でなくとも健全な精神は宿るもの、また逆も然りと考えておりますので、「心身ともに健康」は引っかかる言葉です。

**○菅野教育長**　今後検討させていただけたらと思います。

**○菅野教育長**　そのほか、質疑がなければ質疑なしと認め、質疑を終結します。

これより採決に入ります。本案を決することに異議はありませんか。

【委員より異議なしの声あり】

**○菅野教育長**　異議なしと認め、「議案第１号　伊達市奨学資金奨学生の選考について（諮問）」は、原案のとおり可決されました。

**○菅野教育長**続きまして「議案第２号　伊達市いじめ問題対策委員会委員の委嘱について」学校教育課長から説明をお願いします。

**○阿部学校教育課長**　資料により説明

伊達市いじめ問題対策委員会委員の委嘱について、各団体関係機関へあて職で委嘱しております。本日その内の一つである県の弁護士会で役職を審議中とのことであり、決定次第こちらに連絡をいただく予定になっています。

**○菅野教育長**ただいま説明あった議案第２号について、委員が決定した時点でまた議論させていただきたいと思います。

13.日程７　報告と協議

**○菅野教育長**それでは日程７、報告と協議に移ります。最初に教育長からの報告です。

**○菅野教育長**資料により報告

１　第３学期始業式、成人式等

（１）第３学期始業式：１月　８日（水）

（２）伊達市成人式（５地域で開催）：１月１２日（日）

　　①　開式時刻及び会場等

　　　○伊達地域：１４時（伊達市ふるさと会館）…髙野教育長職務代理者

教育部長

　　　○梁川地域：１０時（梁川中央交流館）

　　　○保原地域：１０時（スカイパレス）・・・・・・・・・教育長

　　　○霊山地域：１０時（霊山中央交流館）・・・・・・・菅野教育委員

　　　○月舘地域：１０時（月舘ふるさとふれあいホール）…市　長

太田教育委員

　　　※式典終了後は、各地域の実行委員の企画による懇親会の実施。

②令和３年度成人式

伊達市内の会場で一括して実施する方向。

２　立志式及びお祝い会

（１）立志式［保原体育館］

　　〇伊達市立６中学校２学年（４３９名）：令和２年１月２３日（木）9:30～

（２）お祝い会［セレビアスカイパレス］

　　○霊山中学校（　４４名）：１月２４日（金）12:30～

○月舘中学校（　２２名）：１月２９日（水）13:00～

○伊達中学校（　８５名）：１月３１日（金）13:15～

　　○松陽中学校（　５２名）：２月　３日（月）12:40～

○桃陵中学校（１３０名）：２月　５日（水）12:40～

○梁川中学校（１０６名）：２月　６日（木）12:30～

３　２０１９年度全国体力・運動能力、運動習慣調査について（担当課より）

　〇対象：小学５年生、中学２年生

４　その他

（１）教育長の部屋（１月）

（２）園長・校長会議資料

（２）学校たより、新聞報道等から

**○菅野教育長**続けて各課からの報告をお願いします。

**○原教育総務課長**教育委員会行事について説明

　中央給食センターの工事が完了しました。駐車場・車庫の工事が12月で終了し、現在書類上の手続きを行っております。中央給食センター関連の工事は全て終了です。

**○坂本生涯学習課長**１月１２日の成人式にお越しいただき、ありがとうございました。令和３年の成人式については、地域ごとに実施してきたものを１か所で行うこととしております。なるべく早い周知に努め、スムーズに移行できるようにしたいと考えております。1月末の伊達市政だよりにてお知らせしていきたいと考えております。

**○阿部学校教育課長**全国体力・運動能力・運動習慣等の調査結果について、小学５年生の男子で県平均を上回る結果です。また、女子は県よりは低いものの、国よりは高い水準でした。中学生２年生は男女ともに県平均及び全国平均を下回る状態であり、様々な項目で比較すると男子の方が体力・運動能力の平均が劣っている傾向にあるということでした。運動に対するアンケート調査からは女子より男子の方が運動に対して消極的である回答が多い事がわかっています。伊達市の子ども達において消極的な回答が多かった質問は、物事を最後までやり遂げ嬉しかったことがある、難しい事でも失敗を恐れずに挑戦する、自分には良い所があるという内容です。これらの質問に対する消極的な回答が、体力・運動能力が下回っていることと関係しているととらえ、今後先生方に研修会等で体育の授業のめあてや振り返り活動をしっかりと行う事や、子ども達の授業中の様子をよく見て、頑張りや成長を価値付けし子どもに自信を持たせることを指導していく必要があると考えております。

**○森林こども育成課長**　１月８日に保育園・認定こども園・幼稚園等の始業式がありました。同日、厚労省・文科省・東北財務局による台風19号の災害復旧工事の査定を受けました。梁川認定こども園については、60％程度復旧が進んでおります。内壁の張替が終わり、床の設置が進められている状態です。おおむね１月末には工事が終わり、遅くとも２月中には梁川認定こども園を再開したいと考えております。

**○谷口こども支援課長**12月定例教育委員会時にお話しましたステップアップ研修会について３回ほど実施をしました。保原と梁川でそれぞれ行っております。31名の申し込みがあり、１回目が８割、２回目は年末という事もあり６割、３回目は８割程度の参加がありました。３年生を中心に学力アップを目的とした利用もありますが、１・２年生は学力向上よりは、先生とのお話を含めた「場所」に来ることが楽しいという傾向にあるようです。令和２年度の実施に向けて、アンケートを踏まえつつより良い運営に繋げたいと思います。

**○菅野教育長**　ただいま報告あったこのことについて、ご意見、ご質問のある方の発言をお願いします。

**○髙野委員**　学校教育課の報告で、少子化が進む中で子ども達が元気でなければ上の世代を支えられません。子ども達の体力等については、もっと本腰を入れて取り組む必要があると感じました。確かに体育の授業の指導法を改善することは大切です。ですが、学校教育全体で体力の向上を図る必要性があるのではないでしょうか。体力の強化は、活動意欲を高めます。それは学習面にも影響を及ぼします。学力向上とセットで体力向上について本腰を入れて取り組んでも良いのではないかと考えます。スマホやゲームに興味関心が向いて時間がとられているのであれば、そこを改善することが必要です。学校教育活動全体の中で取り組まなければ向上は難しいように感じます。周囲の大人も含めて考えなければなりません。さしあたっては、子ども達の体力を向上させ、少なくとも全国平均を上回ることを目標に、本格的に取り組んでも良いのではないかと考えます。

**○阿部学校教育課長**　来年度の学校教育指導の重点においても、体力づくりや運動量の増加、体育だけではなく学校教育活動全体を通した子ども達の自己肯定感を高めるような活動を考えております。また、土台である集団作りもあわせて大切なものとして、来年度の学校教育指導の重点に盛り込んでおります。

**○髙野委員**　中学生の男子について、ほとんどが全国平均以下ですね。小学校から中学校に上がることで平均が上がるように思いがちですが、下がっているのですね。

**○菅野教育長**　県全体の傾向として体力は低下傾向にあります。伊達市も同じような傾向にあり、体力づくりの例を教材として作成し取り組んでいるところです。昨今の教育活動全体の中で、親や周囲の大人が運動に親しむことや学校での教育課程に位置づけられている活動に含まれない運動に取り組むことが大切だと考えます。例えば通学時に家から学校まで歩いてくるだけでも大分違うかと思います。最近は、子ども達を学校まで車で送ってくる保護者が多く、そうした部分での家庭への教育や学校での取り組みが課題であると考えています。今回の調査の中で、自分の学校の調査結果を受けて次年度以降の教育課程に変更を加えているかという調査項目がありました。各学校で行っているという回答をしており、定点観察ではなく子ども達の現在の実態のデータしかない中で、各学校が、教育課程の中でできることについて現状を踏まえてそれぞれ考えていることが分かりました。

**○髙野委員**　それぞれ過去５年10年遡った時にどのような変化をもたらしているのかというデータの示し方が必要ではないでしょうか。

**○菅野教育長**　例えば５人しかいない学校はデータが５人の平均になってしまいます。それを統計の資料に用いることはあまり考えておりません。伊達市全体であれば可能だと思います。

**○髙野委員**　伊達市全体のお話でした。平成25年度はこうで平成28年度はああだったというデータを比較して努力の結果を見るという事ならできますが、単年度では努力の結果が分かりません。

**○菅野教育長**　比較データは私のところにありましたが、全学年ではなく小学５年生と中学２年生のデータです。今小学校５年生の子が中学校２年生になった時には参考になるデータだと思います。子ども達がどのように変わったかを見るのであれば、小学校５年生と中学校２年生を見て頂くかたちになるかと思います。

**○髙野委員**　小学５年生の体力を高めるためには、その前の４年生、３年生から高める必要があります。学校をあげて、１～６年生を通して経年変化を集積する必要があると考えます。

**○菅野教育長**　他の学年の子ども達はこの調査に取り組んでおりません。対象としてデータを取れるのは５年生だけです。学校として子ども達の体力を上げる取り組みを１～６年生まで毎年力を入れて取り組んでおります。全国との比較等で子ども達の現状を見る場合には小学５年生の結果と中学２年生になった時にどのような結果になるのかという事で比較ができるのかと思います。日頃の学校での取り組みが非常に大事だと考えております。

**○三品委員**　月舘学園で行われるプログラミング教育について、どのように準備が進んでいるのでしょうか。

**○阿部学校教育課長**　伊達市では、昨年度より各学校に教職員研修講座にてプログラミング教育研修２年目を実施しました。来年度の教育課程にも位置付けるように指導しております。月舘学園は市内の学校をリードする存在として１月23日に電子黒板やタブレットを用いた指導力向上の研修を先生向けに行う予定です。また、月舘学園の目玉のひとつとしてプログラミング教育の一貫としてロボットを30台用意します。パソコンでロボットを動かすことでプログラミングの思考を育成する方向です。

**○三品委員**　様々な事を準備しているのは分かりました。実際に子ども達に教える先生達がどこまでレベルが上がってきているとかは分かりますか。

**○阿部学校教育課長**　確かに課題の一つです。プログラミング的教育と言うと難しく捉えられがちですが、料理の思考と一緒であると教育長から指導を受けました。教職員に分かりやすく伝えることで、身近なものとして感じさせると共に、アプローチの仕方等も含めて指導していきたいと思います。

**○三品委員**　楽しみにしています。

**○菅野教育長**　プログラムを作れるようになるのがプログラミングの学習ではなく、論理的思考を育成するためのプログラミングの学習であるところをしっかりと主軸に置きたいと思います。

**○田中教育部長**　先ほど保留になっていた議案２号について、まだあちらの会議が終わらないという事ですので、一旦取り下げをさせて頂いて、２月定例教育委員会にて再度提案をさせて頂きたいと思います。

**○菅野教育長**　「議案第２号　伊達市いじめ問題対策委員会委員の委嘱」については、取り下げとすることに異議はありませんか。

【委員より異議なしの声あり】

**○菅野教育長**　異議なしと認め、「議案第２号　伊達市いじめ問題対策委員会委員の委嘱」は、取り下げとします。

**○髙野委員**　今年の総合教育会議は、１回だけなのでしょうか。

**○原教育総務課長**　災害等もあり、今年度の総合教育会議は１回実施したのみです。総務部との調整もありますので、後程確認します。

**○髙野委員**　主管課は総務部かもしれませんが、教育委員会から機会を持つように働きかけることが必要ではないでしょうか。

**○菅野教育長**　ご意見、ご質問はほかにはございませんか。それでは、ないようですので、２月の定例会等の日程について、事務局から説明願います。

**○原教育総務課長**　次回２月定例教育委員会会議　開催予定日

　　　　　　　　　　日　時　令和２年２月19日（水）13：30～

　　　　　　　　　　会　場　伊達市役所東棟２階　201会議室

**○菅野教育長**　ただいまの報告、及びその他全体を通して、ご質問、ご意見等ございませんか。その他ないようでしたら、閉会に移ります。本日は以上で終了いたします。ご出席ありがとうございました。

14．日程８　閉　　会　16時05分

　上記記録の正確なことを認め、ここに署名する。

　　　　令和２年１月15日

　　　　　　　　　　　　議事録署名人

　３番委員

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　４番委員

　　　　　　　　　　　議事録調製者　教育総務課総務企画係　渡邉　美佳